

2018年 JTA ルールブックの改訂点

第1部 チェアアンパイアが見つからない試合方法

1. コールできる選手の変更

「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」に関して両プレーヤー／チームがコールできる。

2. ミスジャッジを直ちに訂正した場合

インだったボールを誤って「アウト」とミスジャッジしたが、直ちにコレクションした場合は、1回目はポイントレットになる。2回目以降は失点する。明らかなウイニングショットは1回目から失点する。ダブルスの1人が訂正すればチームが訂正したことになる。

3. ロービングアンパイアにオーバールールされた場合

レフェリー、アシスタントレフェリー、ロービングアンパイアのいずれかがコート外にいて目に余るミスジャッジを目撃した場合は、直ちにコートへ入り1回目はポイントレットとする。2回目以降は失点する。明らかなウイニングショットは1回目から失点する。

4. 今回の変更は主審なしの試合に関するもので、SCUに関して変更ありません。

5. ルールブックの訂正

P60の4)とP61の7)は削除

第2部 第15条 別表1賞金配分率を廃止し、賞金配分表(ブレイクダウン)として表示した。

第24条 ディレクター、レフェリーおよびアシスタントレフェリーは選手として出場できない。

付則1「JTT,J1,J2 大会管理規程」

第10条 ドローの規模および試合のフォーマット

3) 2019年以降は公式戦で8ゲームプロセットは認められない。予選を含めて3セットマッチとする。
ショートセット、マッチタイブレイクの採用可。

第18条 審判員の任命

1) レフェリーには、JTA 公認レフェリーを任命しなければならない。

第3部 大会レフェリーによる誤った対応がたびたび起きているため、エントリー、ウイズドロー、レイトウイズドローに関する対処方法の詳細説明を加筆した。

24. ヒートルール

気温 35 度以上のほかに、環境省熱中症予防サイトで WBGT が 31℃以上を計測方法に加えた。

第4部 ITF 規則に沿って、試合への 10 分～15 分未満の遅刻に対するペナルティーは廃止された。

2) 服装と用具のコード: 装備品および道具類に製造者ロゴの大きさと数の制限なし。

第5部 チーム対抗戦ポイントは国体を除いて廃止された。